

キリスト教保育

年主題

ともにつむぎだす

（希望の中で）

小論 聖書の語る平和

田中かおる

聖書に聞く

山本香織

連載

子どもの健康

中野恵美子

便秘



MARCO TAVANINI

5

2023 MAY.

探しなさい。そうすれば、見つかる。

聖書 新共同訳・マタイによる福音書7章7

今月の聖句は、祈りの言葉の系列全体の中にあります。そして、「主の祈り」と内面的な関係を持っているのです。

まず、「探しなさい」です。探して、ようやく見つけるというのと、偶然に見つけるということがあるでしょう。ここでは「探しなさい」に力点があるので、この意味から考えることにしましょう。

人間は、この世界で、物に気を配り、人に心をかけて生きていくという志向性を持っています。それを「関心」と言っています。関心はinterestの訳語で、おもしろいという感情的なもののほかに、心が強くそのことに向けられて、しかも積極的にそのことを処理しようとする心構えが、意味されているというのです。『子どもの心と発達』（1979年出版 園原太郎・著 岩波新書 現在品切れ）の著書の中に『興味とは何か』と興味のメカニズムについて論じています。「身の回りのいろいろなことに関心をもつ」という目標を設定した時に、もう一度「関心をもつ」というメカニズムを学ぶことにより、援助のポイントがはっきりしてきます。

聖書における人間の関心〈興味〉は何でしょうか。聖書は「だれでも、自分の利益ではなく他人の利益を追い求めなさい」（コリントの信徒への手紙一10:24、参照フィリピの信徒への手紙2:4）と勧めるのです。これこそ究極の「関心」というものではないでしょうか。

次に「そうすれば、見つかる」です。ここには人間的な探し求めと、神がそれを見つけさせてくださることが、関連したものとして記されています。このことを理解する手がかりとして、ヨハネによる福音書10:9を引用してみましょう。「わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける」これは羊飼いのたとえの説明の一部です。イエスは門であるとされています。それは羊の出入り口として理解されているのです。『この門を通過して出入りする羊だけが、牧草を見つける』つまり救われるというのです。イエスはここで、羊の囲いへの門であることが重要なのです。私たちは、この『門を出入りして』という意味を知らなければなりません。このイエスを通じて、子どもたちを理解し、子どもたちの内にあるものを、見つけなければなりません。

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

（宗宮 進・執筆 当時・日本キリスト教団津山教会牧師 田町保育園園長）

1989年『キリスト教保育』誌5月号より

キリスト教保育

第650号5月号

年主題

ともにつむぎだす

～希望の中で～



幼子とともにキリストへ

目次

〈巻頭言〉

絵本『ぐるぐるまぜまぜ えのぐのしろポン』

ができるまで 正高もとこ

〈論説〉

多様であること、主体であること 松井剛太

図書紹介 平岡未来子 高木伸江

〈小論〉聖書の語る平和 田中かおる

子どもと賛美するために

聖書に聞く・お話 山本香織

【カリキュラム】

5月 月のねがい表

心にとめて 児玉純子

実践報告 さゆり幼稚園 さゆり保育園

実践からの学び 海野美代子

絵本のとびら 井上朋枝

心にとめて 永瀬真澄

実践報告 相愛幼稚園

実践からの学び 清水真理

2

3

4

6

15

16

21

22

25

26

28

34

35

36

38

44

私たちの園では 小出馨

〈連載〉子どもの健康 中野恵美子

〈連載〉キリスト教の行事② 須崎幼稚園

礼拝のお話 大和友子

目福口福耳福 太田陽子

風 吉岡康子 編集子 佐渡いずみ

連盟だより

新刊『おはなしのこみち

きかせてかみさまのこと』に寄せて

66

表紙絵 田中慎子

カット 中畝治子 金井ユリ

松成真理子

63

62

61

51

48

46

45

